

総合単元的道徳学習指導案

尾道市立土堂小学校 吉岡 弘美

1 学 年 第2学年

2 総合単元名 リーダーデビュー

3 単元のねらい

- ・ 様々な活動の中で人と人のかかわりを学び、温かくやさしい心で接していこうとする心情と態度を養う。

4 主 題 名 相手の気持ちを考えて 中心項目 2 - 思いやり，親切

5 本時のねらい

- ・ 相手の気持ちや立場を考えて行動しようとする心情を養い，実践意欲を高める。

6 資 料 名 「どんぐりどっさり」（自作資料）

7 単元及び主題設定の理由

- ・ 学校生活の中で，4月に進級するという喜びは大きく，1年生から2年生になるというのは，特別の喜びがある。1年生の間は，高学年から教わったり，手助けしてもらったりすることが多く，児童もそれが当然であるかのように思っている。それが，2年生へと進級すると，おにいさんやおねえさんの仲間入りをし，ちょっと得意な気分になり，何か1年生にしてあげたいという気持ちが芽生えてくる。また学級内においては，友だちとのかかわりが複雑になり，相手のことを考え話し合う機会が多くなり，自己中心的な考え方と友だちとの関係で悩むこともある。

だれかのために何かをしてあげたいという気持ちが深まると，相手に喜んでもらいたいとか，いっしょに弱さを克服していきたいという気持ちも出てくるが，同時に「相手の立場に立って」行うことの難しさも感じ始める。

そういう状況を考えると，真の思いやりを意識させ始めるよい時期である。さらに，だれに対しても温かい心で接し親切にすることの大切さや，他からの思いやりのある言動に対して感謝することの大切さを指導するよい時期でもあると思う。

リーダーとしてデビューしたこの年，1年生との活動や，飼育・栽培活動等の中で，集団の一員として人と人のかかわりを学びながら，思いやりのある行動をとり社会生活上のルールが身に付くように，1年間を通して本総合単元を構想し，主題，学習内容を設定した。

- ・ 本学級の児童は，学年当初から「リーダーデビュー」ということを意識して活動してきた。特に生活科を中心とした活動や飼育・栽培活動，係活動等において，2年生としてできることを「考えてやってみる」という過程を大切にしてきた。また，友だち関係においても，様々な場面で，思いを出し合い，解決し，お互いに理解し合おうと努力してきている。

リーダーとしての意識が強くなる1年生との生活科は，「なかよしグループ」（班）をもとに活動してきている。出会いの場を「なかよし集会」とし，集会の計画や準備の過程で，2年生になったという自覚を深めることもできた。「なかよし集会」では，自分の思うようにいかない場面

で、1年生のためにどうするかを考えたり、気持ちをどういう言葉で伝えるか悩んだりしている姿が見られた。1年生となかよくなり喜んでもらったことで、次の活動への意欲もわき、1年生といっしょの生活科が楽しみな時間となってきた。「なかよしたんけん part 1・part 2」では、2年生が町の案内役をするということで緊張もし、責任と不安の混じった気持ちであったようだ。探検が終わると、自信もついたので、1年生にかける言葉にも頼もしさが感じられた。今は、まだ1年生のために何かしてあげたいという気持ちで精一杯である。

学級内でも、友だちに親切にしたり手助けしたりしているが、何気ない言動で友だちを傷付けたり、ルールを守らない言動で友だちを困らせたりということも出てきている。

そこで、日常生活の中で自分の言動を振り返らせ、人や動植物とのかかわりを大切にしながら、思いやりの心をはぐくむという重点目標を意識した総合単元構想のもと、学習を展開していきたいと願っている。

- ・ 指導に当たっては、2学年重点目標を意識しながら「思いやり」に関わる学習内容や関連性をもたせた学習内容を構成し、児童自身に「2年生として」「リーダーとして」という気持ちをもたせながら1年生との活動にのぞませたい。

その過程においては、モラルジレンマ資料（自作資料）による授業やゲストティーチャーによる支援を取り入れた授業を展開するなど、道徳的判断力を高め、実践意欲を喚起させていくような学習形態を工夫していきたい。

本時に扱う資料は、2学期に学習した前資料からのつづき話を自作したものである。

児童はこれまで、1年生のために何ができるかを考え一生懸命活動してきているし、前時で たぬきくん の気持ちに寄り添って学習しているので、本時では、相手の気持ちを考えた行動や思いやりについて意識させたい。

ゲストティーチャーとして、1年生の保護者においでいただき、1年生の親として不安や期待、喜びなどとともに、1年生を支えようとがんばってきた2年生への思いや励ましの言葉を語っていただく。その中で、人の心から心へと伝わっていく思いやりが、ひろがり続いていくことへの願いを伝えていきたい。

また、終末の 生かす 段階では、1年生からの手紙を読み、今後もさらに思いやりの気持ちをもって行動していこうという実践意欲を喚起させていきたい。

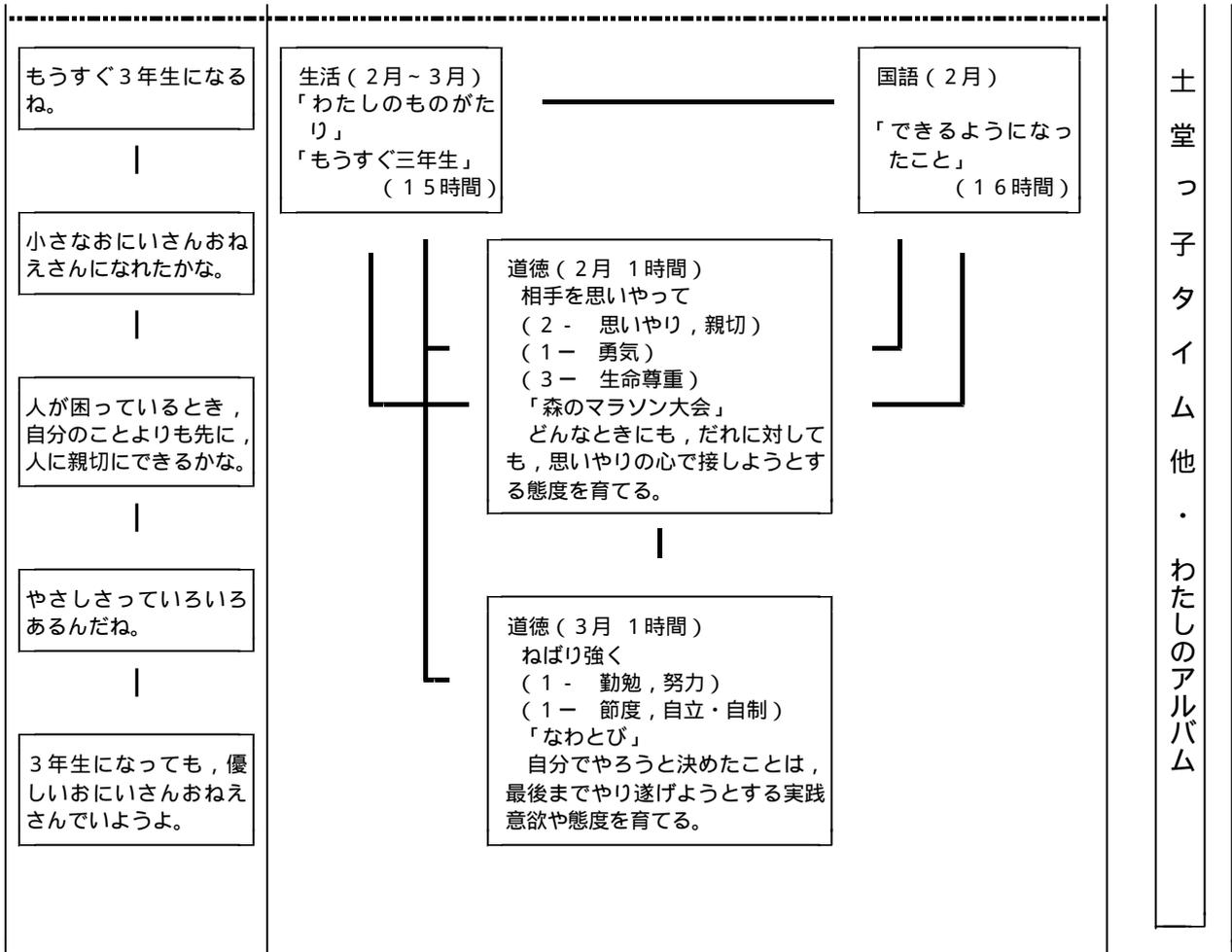
8 ゲストティーチャーについて

- Aさん（本時）
 - ・ 1年生の保護者である。

初めての子を入学させるに当たって、不安だったこと楽しみにしていたこと等を語っていただく。また、入学以来、学校の様々な活動を通して成長してきたわが子の姿を踏まえ、1年生のよきリーダーになろうと努めている2年生を側面から見られてきた立場から言葉をかけていただく。

10 総合単元構想

児童の意識	各教科等			常時活動
<p>1年生が入学してきたよ。うれしいな。</p> <p>1年生となかよくなりたいたいよ。</p> <p>1年生と何かしたいな。どうすれば、なかよくできるのかな。</p> <p>1年生のことがすこしわかったよ。喜んでもらえるとうれしいね。</p>	<p>生活(4月) 「きょうから2年生」 (2時間) 「なかよし集会 ・1年生と友だち」 (1時間)</p> <p>生活(6月) 「なかよしたんけん part 1」 (2時間) 「なかよしたんけん part 2」 (2時間)</p> <p>生活(7月) 「やさしいパーティー」 (3時間)</p>	<p>道徳(4月 1時間) きまりを守ろう (4 - 公德心, 規則の尊重) (3 - 自然愛, 動植物愛護) 「いいのかな」 学校や社会でのきまりや規則の意味を考え、進んで守ろうとする思考・判断力を育てる。</p> <p>道徳(5月 1時間 1・2年合同) きまりを守って遊ぶ (4 - 公德心, 規則の尊重) (2 - 思いやり, 親切) 「一年生のために」(自作資料) きまりを守ることの大切さを知り、相手の気持ちを考えながら、行動しようとする心情と態度を育てる。</p>	<p>特活(4月) 「遠足・1年生と手をつないで」 (6時間)</p> <p>体育(5月) 「運動会へ・力を合わせて」</p>	<p>飼育・栽培活動</p> <p>係活動</p>
<p>2年生として、もっと何かできることはないかな。</p> <p>2年生もお世話になっているよね。2年生のことを考えてくれているんだね。</p> <p>相手の気持ちを考えて行動できるといいね。</p> <p>やさしい心をふやしていきたいね。</p>	<p>道徳(9月 1時間) 感謝の気持ち (2 - 感謝) (2 - 思いやり, 親切) (3 - 生命尊重) 「じぶんがしんごうきに」 自分たちの世話をしてくれる人々に対して、感謝する心情を育てる。</p> <p>生活(10月～11月) 「なかよしたんけん part 3」 (4時間) 「さつまいもパーティー」 (4時間)</p> <p>生活(12月) 「なかよしパーティー」 (3時間)</p>	<p>道徳(10月 1時間) わたしの学校 (4 - 愛校心) (2 - 思いやり, 親切) (2 - 信頼友情, 助け合い) (2 - 感謝) 「学校のたからもの」 学校の人々に親しんで、学校生活を楽しくすごそうとする心情を育てる。</p> <p>道徳(10月 1時間) 本時 相手の気持ちを考えて (2 - 思いやり, 親切) 「どんぐりどっさり」 (自作資料) 相手の気持ちや立場を考えて行動しようとする心情を養い、実践意欲を高める。</p>	<p>特活(10月～11月) 「学習発表会へ向けて・1年生と協力して」 (18時間)</p>	



- 11 本時の準備物
- 資料 「どんぐりどっさり」(自作資料)
 - 資料 1年生からの手紙
 - どんぐり, かご
 - ペープサート, フラッシュカード

12 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点及び支援の観点
気 づ く	1 前時の「山おくのためき」を想起する。	○ なかまに手当てをしてもらって元気になったためきの気持ちを想像する。	・ 友だちにやさしくしようと考えているためきに注目させ、本時の資料(続き話)へ入る。
深 め る	2 自作資料「どんぐりどっさり」の場面把握をし、話し合う。 【1場面】 ・ためきくんのやる気について ・シカくんの気持ちについて ・シカくんの後を追っていたためきくんの気持ちについて 【2場面】 ・シカくんの様子について ・ためきくんの行動や気持ちについて 【3場面】 ・サルくん, リスさん, ウサギさんの様子について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">サルくん, リスさん, ウサギさんが満足しているのはどうしてでしょう。</div>	○ なかまに手当てをしてもらって元気になったためきの気持ちを想像する。 ・ 友だちにやさしくしている。 ・ シカさんは、どんぐりがどっさり集められるか心配している。 ・ でも、どんぐりひろいを楽しみたい。 ・ ぼくが手伝おう。まかせて。 ・ シカくんのどんぐりをいっしょにひろってあげよう。 ・ シカくんは、どんぐりのことがめずらしくて、見つけては喜んでいる。 ・ シカくんは、どんぐり拾いを楽しんでいる。 ・ ためきくんは、シカくんがどんぐりをたくさん集められるか心配していたので、どんぐりをとってきてあげた。 ・ シカくんをもっと喜ばせようと思ってどんぐりをあげた。 ・ シカくんに親切にできた。 ・ 思ったよりたくさんどんぐりが集まったから。 ・ 歩き回って自分の力で集めることができたから。	・ 場面把握がスムーズにいくように、ペープサートを活用する等提示方法を工夫する。 ・ ためきくんが、今度は自分も友だちにやさしくしようと思っており、その気持ちがシカくんに対する「よおし。」という言葉になって表れていることに気付かせる。 ・ シカくんのどんぐり拾いに対する気持ちが、山の中での行動に表れており、ためきくんは、シカくんの気もちに気付かず、シカくんの「どんぐり拾いがちょっと心配だ」という気持ちに注目していることに気付かせる。 ・ サルくん, リスさん, ウサギさんの満足した気持ちとシカくんの気持ちを対比して考えることができるようにする。

<p>深 め る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割演技を通してシカくとたぬきくんの気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>シカくんの涙の理由やたぬきくんがはっと気付いたことについて考えてみましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ シカくんはどんぐりをゆっくり探して拾えなかった。 ・ シカくんは、自分が拾いたかったのに、たぬきくんがシカくんの分まで拾ってきた。 ・ たぬきくんのしたことは、シカくんを喜ばせなかった。 ・ たぬきくんは、シカくんのためにどんぐりをどっさり集めたが、シカくんの気もに沿っていなかった。 ・ たぬきくんは、シカくにゆっくりどんぐり探しをさせてあげればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ たぬきくんの行動は、シカくんのためにと感じていたことであったが、シカくんの気持ちをさらに深く考えることが必要であったということに気付かせる。
<p>生 か す</p>	<p>3 ゲストティーチャーの話 を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の親としての不安や喜び ・ 2年生の活動に対する思い ・ 今後への励まし <p>4 1年生からの手紙を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1年生から、お手紙をいただきました。1年生の気持ちを受け取りましょう。</p> </div>	<p>○ 1年生からの手紙を読みながら、これまでの活動と今後の活動への感想をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お手紙がもらえるなんてうれしいな。 ・ 今度の探検でも頑張ろう。 ・ 1年生、やさしいな。ありがとう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に対する2年生の思いやりの心を再認識させ、今後の意欲につながるような話を語っていただく。 ・ 1年生担任から直接手紙を受け取り、喜びをより実感させる。 ・ 1年生からの温かい気持ちを受け取ることで、今後の活動への意欲づけとなるようにする。

どんぐりどっさり

山のなかまたちに手当てをしてもらい、すっかり元気になったたぬきくん。
「ぼくも、友だちにやさしくするぞ。」
と、やる気いっぱいです。

さて、今日は、山のなかよし学校のどんぐりひろいの日です。
クマ先生が、
「かごにどんぐりをどっさりひろっておいで。どんぐりがあつまったら、なかよし学校にもどってくるんだよ。」
と言いました。
みんなは、
「どんぐりどっさりひろうぞ。」
「わたし、どんぐりのいっぱいあるところ知ってる。」
と、大はりきりでなかよし山へむかいました。
でも、シカくんは、ちょっと心ばいそうです。だって、どんぐりひろいがはじめてなんですから。
「ぼくは、どんぐりをどっさりあつめられるかな……。でも、いいや。ゆっくりどんぐりをさがして楽しむから。」
それを聞いたたぬきくんは、
「ようし、ぼくにまかせて。シカくんまって、ぼくもいっしょに行くよ。」
とあわてて、しかくんの後をおっていきました。

山の中では、どんぐりをどっさりあつめようと、みんないっしょうけんめいでした。
シカくんは、
「ほら見て、たぬきくん、形がちがうどんぐりだよ。ほらここにも。」
と、どんぐりを見つけては大よろこび。大じそうにかごの中に入れていきます。
たぬきくんは、シカくんをもっとよろこばせてあげたくなりました。
「シカくん、ここでどんぐりをひろってよ。ぼく、どっさりとってきてあげるから。」
こう言うと、さらに山おくに入っていました。
どんぐりをどっさりあつめてきたたぬきくんは、シカくんのところにもどってきました。
「シカくん、きみの分もあつめてきたよ。ほら。」
少ししか入っていなかったシカくんのかごの中へ、どどどどとどんぐりをうつしていきました。
あっという間に、シカくんのかごはどんぐりいっぱいです。たぬきくんはうれしそうに、
「さあ、なかよし学校へもどろう。もしかすると、サルくんたちよりたくさんあつめられたかもしれないよ。」
と言って、シカくんとかたを組んでなかよし学校へもどっていきました。

なかよし学校にもどったたぬきくんは、
「よかったね、シカくん。どっさりあつめてもどることができたね。」
と、うれしそうです。ところが、シカくんは、
「たぬきくん、どんぐりをありがとう……。でも、ぼく……」
と、何か言いたげです。
そのとき、かごいっぱいにどんぐりをあつめたサルくん、リスさん、ウサギさんがまんぞくしたようすでもどってきました。
「たぬきくん、シカくん、ぼくたちは、山の中をあるきまわって、思ったよりたくさんどんぐりをあつめることができたよ。」
「わあ、シカくんもすごいね。はじめてなのに、こんなにたくさんあつめることができて。」
と、サルくんがびっくりして言います。
でも、シカくんの目はなみだでいっぱいです。
「ぼく、ぼくね……」
と、だまってしまいました。
たぬきくんは、はっとして、シカくんのどんぐりを見つめました。

